

岸田夏子展

— 生命・刻 ソレハ 夢 —

岸田夏子は、1940年和歌山県に生まれ、1963年東京芸術大学絵画科油絵専攻（林武教室）卒業後、1965年に同大学院（脇田和教室）を修了。1984年東京銀座の資生堂ギャラリーから始まり、銀座・吉井画廊、日本橋高島屋美術画廊、日本橋三越本店美術特選画廊等での個展、2005年には日・EU市民交流年のイベントのひとつとしてベルギーにて個展等、国内外で作品を発表してきました。また、尾道白樺美術館、清春白樺美術館の館長を歴任し、文化振興に貢献しています。

洋画家・岸田劉生は祖父であり、母・麗子の幼い姿を描いた「麗子像」の模写を師の林武の助言ではじめ、劉生が描けなかった大人の麗子を描いています。また、1980年代半ばに出会った山梨県清春の桜を繰り返し描き、多くの大作を発表し、美術館等に収蔵されています。そして、2011年の震災後、人々の深い悲しみと自然界の恐ろしさ、人間の欲望に向き合うなか、色彩を抑えた再生、生命力、宇宙の神秘をテーマとする作品が生まれます。

本展では、人物、風景、静物、桜そして、神秘を探求した作品まで、岸田夏子の画業を代表作で紹介します。



4

5

関連プログラム

オープニング・セレモニー & ギャラリー・トーク

4月7日[土] 14:00~15:30

入館料のみ、申込不要

ギャラリー・トーク講師：岸田夏子氏

岸田夏子作品鑑賞会

5月3日[木] 14:00~15:00

入館料のみ、申込不要

講師：岸田夏子氏



6

7

8

[表面] 1.「月に舞う」 1997年 1303×1939mm 油彩
2.「深い海」 2011年 1121×2910mm 油彩
3.「宇宙の神秘」 2011年 1455×1121mm 油彩

4.「春遠からじ」 1984年 1621×1621mm 油彩
5.「ハーモニー」 2005年 1303×1939mm, 1303×910mm×2 油彩 葺崎大村美術館蔵
6.「紅の路」 1984年 1455×1121mm 油彩
7.「二人の麗子」 1998年 1000×803mm 油彩 長谷川町子美術館蔵
8.「ある男の肖像」 1984年 909×727mm デッサン

交通のご案内

◎車にて/中央自動車道「須玉IC」、上信越自動車道「佐久IC」、中部横断自動車道「佐久南IC」または、「八千穂高原IC(予定)」より国道141号線を経て「松原湖入口」の信号を松原湖方面へ約4km

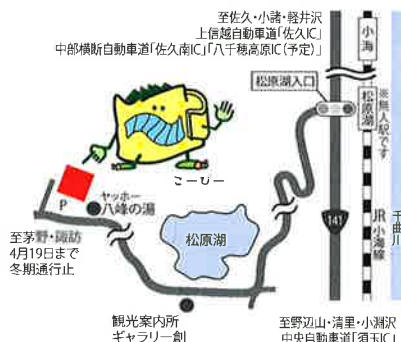
◎JRにて/北陸新幹線「佐久平駅」または、中央本線「小淵沢駅」より小海線にて「小海駅」または、「松原湖駅」下車、路線バス（八峰の湯・美術館行き）または、タクシーにて「八峰の湯・美術館」下車

◎宿泊・観光のお問い合わせ：松原湖観光案内所（TEL.0267-93-2005）

レストランの案内



美術館入場券とお飲み物がセットになったお得な共通券（600円）あります。
定休日：美術館に準ずる
営業時間：午前11時～午後5時
10～20名様パーティ、夜の予約承ります。
TEL.0267-93-2151
E-mail.hanasarasara@outlook.jp



設計：安藤忠雄建築研究所
小海町高原美術館
〒384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里5918-2
Tel.0267-93-2133 <http://www.koumi-town.jp/museum/>
Fax.0267-91-3011 <https://www.facebook.com/koumimuseum/>
E-mail:bizuyutukan@koumi-town.jp